

エコが千代田の自慢です!



CES 通信

Vol.12 2024 春号



CESエコフェア2023を開催しました

千代田のエコを推進しよう!



2023年10月21日(土)に、千代田区役所1F区民ホールにて、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指し、持続可能なまちゼロカーボンちよだ達成へ向けての活動の一環として開催し、区内の大学、各種団体、企業による、さまざまな環境関連展示やワークショップが出演されました。

「2050ゼロカーボンちよだ」への若いエネルギーの息吹を感じて

今年度は千代田区の幹旋にて、手軽に里山の緑に触れられる「里山BONSAI」の出演が決まるなど、区との協力体制により新たなショップにもご参加いただきました。皆さまにも、お馴染みの区内大学や有志団体の出演ほか、再生家具無料抽選会・都市養蜂プロジェクトによ

る試食・販売など、例年になくショップも非常に好評で来年以降も企画の継続を求める声が多数ありました。また、会場は区内中学校からの団体見学もあり、活気ある若いエネルギーに満たされました。ご来場の皆さま、ありがとうございました。



・「サーキュラーファッション2023」共立女子大学 被服意匠研究室(左)
・残り毛糸で「秋のお弁当を作りましょう!」 ひつじの会(中)
・福祉施設で大切に育てられた在来種の苗木を使った里山BONSAIづくり「里山BONSAI」ワークショップ(右)



「すぐろくでSDGsを学ぼう」
専修大学 渡辺ゼミ



「都市養蜂 MEIDAI ECO HONEYプロジェクト」
明治大学 大森ゼミ



「tomattECOtabetECO~とまってこたべてこ~」
ホテルウィング・テンザホテル



「新聞紙と段ボールで作るスリッパ」
カトー折り研究所



・子ども服の交換会(上左)
・千代田区清掃事務所が行っている、食品を必要としている地域の福祉団体や施設、NPO法人に寄付することで、食品ロスの削減につなげる「フードドライブ」活動の紹介及び、使用済園芸土・小型家電の回収、資源とゴミの分け方・出し方相談会(下左)
・紙バックリサイクル(下中) ・再生家具無料抽選会(下右)



CES会員有志による、
パネルの展示説明
CESクラスⅢ推進部会
(左)

NPO法人
地中熱利用促進協会(右)



株式会社ユニパック
三菱地所株式会社(左)

2024年3月16日「CES環境講演会」を開催しました。

テーマ：特別区において森林環境譲与税・森林環境税をどう活用するか？

—木材利用を含む多面的検討から—

筑波大学 准教授 立花 敏氏

2024年3月16日(土)、筑波大学/立花 敏准教授を講師に招いて、「特別区において森林環境譲与税・森林環境税をどう活用するか？」と題して、千代田区役所にて開催しました。CES通信vol.11号にて既報の通り、「森林環境譲与税・森林環境税」が創設されており、2024年度より国税として一人当たり年額1,000円の森林環境税が徴収されます。

講演では、森林の有する多面的機能や、日本における森林の状態、森林所有者の状況が紹介され、地球温暖化対策やカーボンニュートラルに対する森林管理と木材利用の寄与などが解説されました。また、1980

年以降の世論調査における森林への期待項目の変遷も概観されました。それを踏まえ、この税の仕組みや期待される使途に関する説明がありました。

森林を保有しない千代田区では税を有効に生かすため、「多摩の森」活性化プロジェクトなどにより複数区にて連携することを選択しました。今後、区民ニーズの把握と山間部自治体での事業内容とのマッチングが大事になり、また連携の進展により昨今の森林管理の担い手不足が解消されることが期待されます。



▲登壇した立花准教授 傾聴する参加の皆さん▶



▲質問した明治大学 田中さん
◀大森理事による冒頭挨拶



千代田エコシステム(CES)監査・認証(クラスⅢ)の表彰について

2023年10月30日(月)に開催されたCES認証委員会にて、千代田区(今期より1つの事業所として監査、内21の部署を監査対象として抽出)、及び以下の一般事業所6か所(障害者福祉センターえみふる、内幸町ホール、社会福祉協議会、株式会社久保工、株式会社大同、株式会社ジャパックス)のCES監査結果に対する審査と認証が行われ、活動内容を高く評価された「千代田区・子ども総務課」が表彰対象部署として選定されました。

紙使用量削減の実現、水使用量削減の目標を新設、「ペーパーストックレス」への取組みなど



国内材製の表彰状

が表彰理由となりました。

2023年12月4日に同課を訪問し、CES渡辺理事長より表彰状を贈呈致しました。



左：CES渡辺理事長 右：小玉 伸一/子ども総務課長

MEMBER'S
VOICE

CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

令和5年度『東京都トライアル発注認定制度』認定製品の販売で省エネに貢献

CES賛助会員／株式会社ユニパック
代表取締役 松江 昭彦

令和5年度『東京都トライアル発注認定制度』※に認定された当社の「超親水性持続抗菌フィルター「恵風Ag+」シリーズ」は「個別空調方式」の機器に設置するフィルターで、既存フィルターと交換し使用できます。

全メーカーに対応したサイズで製作しワンタッチで交換可能であり、設置工事は不要です。「捕集機能」にフォーカスした商品で、菌やウイルスが付着した細かな粉塵まで捕集し花粉粒子は99.9%捕集可能です。さらに、富士フィルム社製抗菌剤「Hydro-Ag+」をフィルターに加工しており、持続的な性能を発揮します。

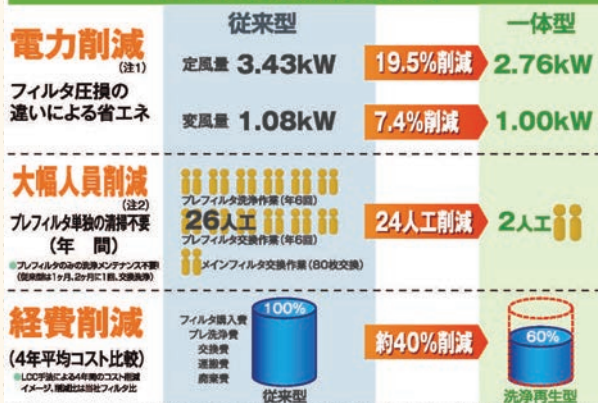
また、「薫風」シリーズは「セントラル空調方式」の機器（エアハンドリングユニット）に設置する洗浄再生型中性能フィルターで、「省エネルギー」にフォーカスし



都の認定書を掲げる
営業部 牛嶋里美主任

た商品として①電力削減②大幅人員削減③経費削減のトリプル削減を実現いたします。

トリプル削減を実現!



東京都環境科学研究所との共同検証

株式会社ユニパック <http://www.unipac.co.jp/>

※ 都内中小企業者の新規性の高い優れた新商品及び新役務（サービス）の普及を支援するため、新規性や独自性など東京都が定める基準を満たす新商品等を生産・提供する中小企業者を「新商品等の生産・提供により新たな事業分野の開拓を図る者（新事業分野開拓者）」として認定する（新事業分野開拓者認定制度）とともに、その新商品等の一部を東京都の機関が試験的に購入し評価する（トライアル発注事業）制度です。

CESのEMS導入後2023年度に、新たに認証取得された、(株)久保工様にお話を伺いました。

神田で宮大工として創業し、千代田区を中心に事業を推進する、業歴95年を超える総合建設業の(株)久保工様。

2025年中に竣工予定の新本社ビルの着工にあたり、CESのEMSの導入を決め、今年度が初回のEMS監査。以前にISO9001導入し、新たに環境マニュアルの策定を進めるなど、環境への意識は非常に高く、社内ポータルにて「eco通信」を発行し社員への環境意識向上を図っています。



(株)久保工 顧問 向後信幸様

お話を伺った向後顧問によると、新社屋では太陽光パネル・雨水再利用・バルコニーの植栽帯・多摩産木材・Low-Eペアガラス・省エネ性能ZEB Ready・全館LEDなどを採用。

ビルの新築計画ではこうした最新の省エネ・省CO₂案を織り込んだプランをご提示して、施主様が満足いくように建築計画を練り上げるのが好評とのことでした。

また、大手の不動産デベロッパーと共に千代田区岩本町でのCLT構造材※を採用したオフィスビルプロジェクトにも参画するなど、先進技術のノウハウをお持ちです。

今後、CO₂削減となる最新技術を千代田区内に伝播してくれることが期待されます。



新本社ビル完成イメージ

※CLT構造材・・・Cross Laminated Timberの略。1995年頃からオーストラリアを中心として発展してきた新しい構造材で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した大判パネルのこと。

理事長
だより

CESエコフェアを契機にコラボ企画始動

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 渡辺 達朗
専修大学商学部 教授

昨年10月21日(土)の「CESエコフェア2023」に専修大学商学部渡辺ゼミナールとして出展しました。内容は、これまでゼミが取り組んできた「手作りSDGsすごろく」と「コーヒー豆の出し殻を活用した手作り消臭袋作成」のワークショップです。

前者は、小・中・高校生とSDGsの17の目標について楽しく学ぶことを目的とし、後者は食品廃棄物削減に貢献するために、コーヒーを淹れた残りの豆の出し殻を消臭剤として活用するものです。

出展した成果としては、エコフェアに来場して下さった区民などの皆さまと、日頃のゼミでの学びについて交流できたことがあげられますが、それ以上にありがたかったことがありました。

それは、アップサイクルスタイルのファッションショーとワークショップを実施された共立女子大学の宮武恵子先生が、ご指導される被服意匠研究室の皆さんや、来場された区内私立中学校の先生・生徒さん達

と、その場でさまざまなお話しができただけでなく、これを機に、食品ロスやファッションロス削減の取り組みとしてコラボ企画を開始できたことです。その成果は、来年度の区内イベントなどで発表する予定です。

主催者側の立場としても、エコフェアが出展者さん同士の交流の契機となり、区内の環境活動がより活発化することを願っているところで、そのモデルケースの1つとなればと考えています。



専修大学商学部渡辺ゼミナールの皆さん

新任理事のご紹介

令和2年度の総会にて理事に就任した、大野靖二氏が所属元の人事異動に伴い退任し、後任の理事に碓井秀直氏が就任しましたので、ご紹介致します。

同氏は東京商工会議所千代田支部・事務局長で、千代田区内の民間企業の動静に見識を有しており、当協議会での活躍を期待されております。11月開催の臨時総会にて選任されました。任期は、前任の大野氏の残りの任期が満了する令和6年度の総会までの期間となります。



編集後記

趣味のロードバイクで、よく通る幹線道路から見える稜線沿いの森林区画にいつの間にか、多数の戸建て住宅が建設され販売開始していた。東京都の周辺の緑も都市部への人口の集積により益々、削られて行ってしまうのかと思うと寂しい気持ちとなる。



従来、日本の国土面積の3分の2は森林であるといわれているものの、これらの地目が変更される個別のエリア面積は取るに足りないのかもしれないが日本全国で合計したら相当な数値になるのではないだろうか。3分の2だったものが2分の1へ減少しましたとして発表される日が来るのは近いかもしれない…(I)



Vol.12 2024 春号

発行・編集：(一社)千代田エコシステム推進協議会
発行日：2024年3月29日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688

千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階

電話：03-5211-5085 FAX：03-3221-3405

メール：info@chiyoda-ces.jp

URL：https://chiyoda-ces.jp

